

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10580003				
授業名	多文化と異文化理解 C	形態	講義	単位	2
担当教員	長谷川 奏				
開講学期	2025年度 後学期	曜日・時限	月曜5限		
授業目的	地中海地域を事例にして、歴史的文明層が厚く折り重なっている点を理解すると共に、現代社会に内包されたさまざまな問題点のねもとの部分を見据えていく。私たちが、日頃より慣れ親しんでいる考え方の多くが、西洋の近代以後に形成された「境界的思考」に深く根ざすものであることを理解し、そこからの脱却をはかり、新たなコミュニケーションシステムの構築をめざす。				
授業内容	歴史的に深みのある文明層が堆積する地中海地域を考察対象とする。当該の歴史的断面には、「初期文明（古代オリエント文明）」「地中海文明（ギリシア・ローマ文明）」「イスラーム文明」「西欧文明」が折り重なって、現代社会が形づくられる。古代世界の知は、イスラームを経由して西欧に伝達された歴史的な事実に目を向ける。そしてさらに、ルネサンス、<科学の世紀>、産業革命を達成した西欧が、イスラームとの力の逆転構造を達成して以後、私たち自身の思考様式が、西洋近代以後の「境界的思考」に深く関わってきたかを学ぶ。				
到達目標	私たち自身の思考様式が、<国民国家>や<国語>の創出に基盤を置いた西洋近代以後の「境界的思考」に深く関わってきたかを知ることから、そこを越えた脱・境界的思考のための異文化理解が達成される。				
ディプロマポリシーとの関連性	<大DP1-（５）>人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。				
授業形態	基本的には講義形式である。 アクティブラーニングとしては、対面講義では映像教材を用いたりしてディベートを挟んで進める。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	①事前課題（授業外学習）、②リアクションペーパー（各授業の理解度と質問力）、③授業内試験の結果（全授業の理解度と論述力）により総合的に評価する。 （注意事項及び履修条件の項目もよく読むこと）				
評価基準	事前課題：10点 リアクションペーパー：20点 理解度のチェック：70点				
試験・レポート等のフィードバック	随時課題の結果は、授業内で解説する。				
注意事項及び履修条件	＊毎回、出席をとる。 注意① カードリーダーの登録があっても、リアクションペーパーを提出しなかった場合またはリアクションペーパーに授業の内容、質問、感想を書かなかった場合は欠席とする。 注意② 授業冒頭の事前課題提出に送れた場合は遅刻とする。 ＊出席回数が3分の2に満たない学生は、授業内試験の受験資格を失う。 ＊授業内試験の記述内容がインターネットのサイトからの引用であると判断した場合、D判定とする場合もある。				
S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満					
第1回					
事前学習	シラバスをよく読み、講義の全体的な流れをあらかじめ理解することに努めること。				
授業内容	オリエンテーション―「文明論モデル」の利用―				
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。				
参考文献	大出晃『知識革命の系譜学-古代オリエントから17世紀科学革命まで-』岩波書店(2004)／ターナー、H.R.著、久保儀明訳『図説・科学で読むイスラム文化』青土社(2001)／タート、G著、南條郁子・松田迪子訳『十字軍-ヨーロッパとイスラム・対立の原点-』「知の再発見」双書30、創元社(1993)／伊東俊太郎『十二世紀ルネサンス』講談社(2006)。				
第2回					
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。				

授業内容	ヘレニズム時代の知がおりなされた場
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。
第3回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	地中海文明にさきだつ初期文明の知
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。
第4回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	「地中海文明の第1ステップ-自然学の登場-
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。
第5回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	地中海文明の第2ステップ-哲学の形成-
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。
第6回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	<アレクサンドリアの知>の歴史背景
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。
第7回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	地中海文明の第3ステップ-精密科学の展開-
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。
第8回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	ローマによる実践科学とは何か
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。
第9回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	<広域経済圏>のインパクト
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。
第10回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	多神教からキリスト教の世界へ
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。
第11回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	イスラーム文明の興隆
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。
第12回	

事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	イスラーム社会の特徴
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。

第13回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	ギリシア科学の継承者としてのイスラーム
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。

第14回	
事前学習	さまざまなトピックをサーチして、予備知識を蓄積すること。
授業内容	<十二世紀ルネサンス>の意義
事後学習	授業内容を整理する。授業で登場した単語、疑問点、興味を持った内容について調べる。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。

第15回	
事前学習	これまで14回の講義で学んだことを振り返り、まとめを準備すること。
授業内容	まとめ-地中海を舞台に受け渡された知-、および理解度チェックを行う(このチェックは成績判定の上でたいへん重要になるので必ず出席すること。欠席の場合は、公的な理由が無い限り、情状を斟酌する対応は行わない)。
事後学習	後期のテストに備えて授業史料と自分でまとめた授業ノートをよく読んでおくこと。
参考文献	長谷川奏『図説 地中海文明史の考古学-エジプト・物質文化研究の試み-』彩流社(2014)。

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。	
---------------------------------------	--

ディプロマポリシー	<大DP-1>【社会の構成員としての基本的知識・技能・能力】 <大DP1-(1)>日本語や英語のコミュニケーション能力を修得している。 <大DP1-(2)>情報リテラシーや数量的スキルを修得している。 <大DP1-(3)>課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身に付けている。 <大DP1-(4)>自己管理能力、倫理観、リーダーシップ、市民としての社会的責任、生涯学習力を修得している。 <大DP1-(5)>人間、社会、国際、自然等に関する広い知識と理解を有している。 <大DP-2>【専門教育分野における知識・技能・能力】 <大DP2-(1)>自らが学んだ学位プログラムの基礎となる原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。 <大DP2-(2)>修得した体系的専門知識を、実践の場において活用する技能や態度を修得している。
-----------	--